

役員に対する『インテグリティ』研修

テーマ 「バスケットボールというスポーツが今よりもっと社会的にも価値の高いスポーツと認められるために」
「10年後の彼ら(プレイヤー)に責任を持とう!」

- ・コートを出てからも果たすべき責任がある。
- ・バスケットボール選手を育てるのではなく、バスケットボールをする人間を育てる。
- ・コーチの存在は選手のためであって、コーチ自身のためではない。
- ・健全で豊かなアスリートを育む土壌を作ろう。
- ・成長過程でどんな大人と出会えたかで、人生が大きく左右される。

内容 ア) 「インテグリティ」 … 「誠実」「真実」「高潔」という価値観や態度を指す。
→ 誠実さや品位、良識、公平など、法律や規範を超えて道徳的な価値観や自らの倫理観に基づいて行動することを指す。
「コンプライアンス」 … 主に法令や社会的通念、社内規則を遵守することを指す。
→ 定められたルールや規範に従うことに重きを置く概念。

「コンプライアンス」は不祥事や違法行為を防ぐという「消極的な性質が強い」のに対し、「インテグリティ」は積極的に社会に貢献しようとする「能動的」な側面を持つ。「インテグリティ」の高い人は、法令遵守は当然のこととして、より高い倫理観で意識的に行動している。

イ) 『事案が発生したときに』

注意:調査・事実認定にあたっては、行為当時の実体規程を確認し、手続規程に則り、処分の対象となる行為について調査・事実認定をする。

(実体規程・・・基本規程、倫理規程、規律規程、裁定規程ほか)

(手続規程・・・規律規程、裁定規程ほか)

- ・感情が先に立つ
- ・規程どおりに手続きをする (規程がなければ、処分どころか調査も) 弁明の機会が絶対必要

- 例) ・全国 U15選手権における没収試合 … TO忘れ
手続きは正当だったが…
- ・体操女子 パリオリンピック辞退
違法だが、犯罪ではない
監督が処分されていない
 - ・大学アメフト U20世界選手権における大麻問題 関西の大学
どのようなルールで処分されたのが不明
検査拒否は何故ルール違反なのか
違法薬物・所持の問題は、スポーツ団体が扱う？

ウ) 「生存(者)バイアス」

「生存バイアス」に無意識に影響を受けていることを認知する

- ・自分のいる社会は全体の一部であることを認識する
- ・失敗事例を無視していることを認識する
- ・まずは疑うこと
- ・確率・統計を学ぶ

- 例) ・Aさんは1歳上のBさんに今年受験する勉強のやり方を教えてもらうことにしました。Bさんは「あそこの大学の過去問は1年分しか解いてないけど受かったよ」。だからAさんはそうすることにした。
- ・「事故」や「戦争」の生存者の話を聞いて、「その事故はそれほど危険ではなかったんだ」、「戦争へ行っても簡単に帰ってこられるのだ」
 - ・親が「私はあのコーチに殴られて指導されたから今があるのだ」と思い込んで、自分の子どもにも容認すること。

エ) 救急救命

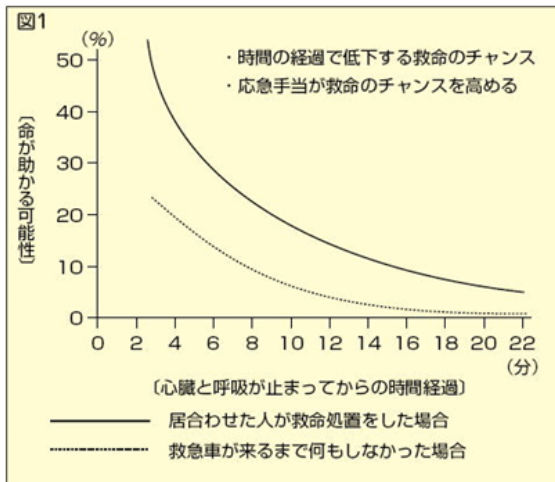
チームのコーチが、あるいは保護者や選手(その場に居合わせた人)が傷病者に対して適切な応急手当を確実に行うことができるか？

⇒ 大切なことは『 **社会復帰** 』である！

(再び普段どおりの生活を送ることができる)

救急車の現場到着所要時間は、令和4年中「10.3分」(前年比0.9分)

「心肺蘇生法」「AEDの取扱い」「異物除去・止血感染防止」
「熱中症への対応」などができるか？



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

